

# 提言：観光行政について

## I 提言の背景・趣旨

平成 31 年 3 月に、町は月山朝日観光協会と「西川町観光ビジョン」を策定しました。このビジョンでは、観光を、町の産業振興や町自体の活力を維持するために、町外の人々との交流をもとに拡大していくことによって、ひいては、それら人々の移住、定住へとつなげるための施策と位置づけ、展開しています。

また、第 6 次西川町総合計画において、本町が存続していくための目標数値の一つとして「交流人口 100 万人」を掲げ、ライフスタイル提供型や着地型滞在プログラムを開発し、宿泊滞在層をターゲットにした誘客拡大を図っています。また、まちづくり応援団や教育旅行訪問者、観光リピーターなど「西川町拠点度合い」を高め、かつての出羽三山講中の現代的活用や六十里越街道を通した広域連携を図るなど、本町特有の自然・歴史・文化環境を活かした観光を推進しているところです。

そして今現在、第 6 次西川町総合計画の期間も残すところあと 2 年余りであり、第 7 次西川町総合計画に向けて、その準備に入らなければならない重要な時期に来ていると言えます。

## II 提言内容

本町には、夏スキーや四季折々の自然に親しめる月山をはじめ、山岳宗教に依拠した神社仏閣等を歴史的背景とする観光施設が多く存在しています。それらの施設の活用を図り、誘客に結びつけることが大切です。それには、西川町全体の観光施設の存在を明示することと、それを活かすための方法を長期的ビジョンの下に計画することが必須であります。その中で、水の文化館や湖月山荘など、その当初の使命を終え、次なる発展のためにどうすべきか検討しなければならない施設が多数見受けられます。

したがって、今後の新たな変化に対応すべく、そのあり方などについて提言するものであります。

### 1. 月山周辺の整備

#### (1) 月山ペアリフト

昭和 63 年にできたペアリフトについて、どのような支援をしていくのか、また、代わりにロープウェイを新設するなど新たな考えなどあるのか。30 年以上経過したリフトであるため、耐用年数などに鑑み、整備や更新について準備しないとイケない。観光上無くすことは到底考えられないことから、長期的・短期的な検討が必要である。加えて観光客のニーズに応えるためにも、駐車場からリフト下駅までの移動手段も検討すべきである。

## (2) 志津・姥沢周辺の空き家対策

志津地区並びに姥沢地区には多くの空き家が目立つようになり、観光地としての体をなしていないのが現状である。空き家対策を主とした環境整備を図る必要がある。

## (3) 弓張平公園とキャンプ場

体育館やアスレチックなど備えた弓張平公園と、オートキャンプ場などが隣接するという、絶好のロケーションであることを活かし、もっと積極的に宣伝し、利用への働きかけを行う必要がある。そのためにも西川町民の利用促進を図り、観光地への関心を高めることも必要である。

## 2. 月山湖周辺の整備

### (1) 湖月山荘

築40年以上経過した建物であるうえ、耐震工事もされず、建物内での飲食の営業等の役割も終え、現在は1階の車庫以外は全く利用していない建物である。更に、指定管理が廃止され町直営管理となったものの、管理費だけがかかっている現状にある。早急に解体するなどの結論を出すべきである。

### (2) 水の文化館と湖面利用

河川空間のオープン化（湖面利用）による月山湖活用策の中において、水の文化館をベース（活動拠点）とした新たな利用目的を確立し、この建物を起点とした月山湖周辺の観光計画を立ててはどうか。

### (3) 月山湖大噴水

月山湖大噴水は大事な観光資源であり、日本一を表記するなど積極的に活用すべきである。

## 3. 月山朝日観光協会

### (1) 月山朝日観光協会の事務所

月山朝日観光協会は、現在、銘水館の2階に事務所を構えている。しかし、観光客や訪れる人との接点が困難であると言える。観光行政を進めるには、観光客との距離をもっと身近なものにすべきである。適切な場所の選定を急ぎ解決を図る必要がある。

### (2) 町商工会との連携

観光政策を進める場合、町商工会との連携も必要なものであり、月山朝日観光協会と町商工会との接点を強くする必要がある。

## 4. 神社仏閣や歴史的遺構

#### (1) 安中坊歴史公園

安中坊歴史公園を中心とした、町歴史文化資料館、阿弥陀屋敷跡など、周辺一帯を活かした展開を図っていくべきである。

#### (2) 岩根沢三山神社

出羽三山講中の宿場町としてのたたずまい、また、木造建築としては東北最大級である社務所、重要無形文化財である太々神楽など、その歴史的背景や物語も含めてより魅せるための整備を図るべきである。

### 5. 観光看板の設置

看板には西川町らしさがみられない。町民と職員のアイデアを結集し、これぞ西川町という看板を設置すべきである。

### 6. 観光ガイドの育成

町内主要観光施設を案内できる観光ガイドの育成を、長期的視野で考える必要がある。